

あいちの印刷

6

2012.6
No.487



湖畔に咲くつつじ

もくじ

巻頭言 「理事長として取り組むこと」	
／理事長 木野瀬吉孝	3
愛知県印刷工業組合 平成24年度通常総代会	4
平成24・25年度理事長所信	6
平成24年度事業計画	8
身近な催し物のお知らせ	9
平成24年度5月期理事会（第2回）	
今後の事業予定発表	11
平成24・25年度 愛知県印刷工業組合執行部 及び委員編制図	12
愛知県印刷協同組合 平成24年度通常総会	13
「印刷業における 化学物質による健康障害防止対策」要請	13
「競り下げ方式」入札制度への対応 ／展示会案内／事務局だより	14

「理事長として取り組むこと」

理事長 木野瀬 吉孝

5月18日の愛知県印刷工業組合総代会で理事長に就任いたしました。次代に健全な業界を継承し、社員とその家族に確かな生活基盤を提供し、業界が社会に貢献し続けることを目指して、理事長職に取り組んでまいります。

幸い副理事長を始め、委員長も意欲あふれる方々に就任していただきました。組合員の皆様には、時宜に応じて有益と思われる様々な情報を発信していく所存ですので、期待してお待ちください。

特に実現を目指し、重点課題として取り組んでいくのは下記の三項目です。

1. 利益が享受できる会社づくり

企業が利益を確保できなければ存続できません。お客様により良いサービスを提供するのも、雇用を守るのも利益があって始めて実現します。しかし、その利益を享受できないのが、現在の我々の業界です。原因は、もちろん自分たち自身にあります。

全印工連では、MIS（経営情報管理システム）導入による経営の「見える化」を提唱してきました。しかし、システムを取り入れるための経費やマンパワーがネックとなって進んでいないのが現状です。それらを解消できるよう企業規模に関係なく、安価に導入できるよう準備を進めています。一つひとつの製品の原価から一人ひとりの加工高まで日次で把握でき、瞬時の経営判断が可能になるシステム構築を業界と

して取り組んでいきたいと思っております。

2. CSR（企業の社会的責任）を果たす業界
CSRを果たす相手（ステークホルダー）としては、主に社会・顧客・取引先を上げますが、私はあえて社員を加え、その位置づけを明確にしたいと思っております。組合は、新入社員教育（230時間のカリキュラム）を始め、他の業界に真似のできない規模で社員教育の場を提供してきました。

そうしたスキルアップの機会提供だけでなく、社員の生涯設計に踏み込んだ制度を積極的に進めていきます。経営者が、社員の生涯設計に責任をもって共に取り組めるモデルケースを提示してまいります。

3. 経営者の勉強の場としての組合

経営者でありながら、経営のことを学ばない人が経営をし続けたら会社はどうなるのでしょうか。バブルの頃のように結果オーライの時代は、もう永遠に来ません。

昨年、全印工連は「経営羅針盤」という印刷業界に特化した指南書を発刊しました。それをベースに、経営者の勉強・実践の場を提供してまいります。

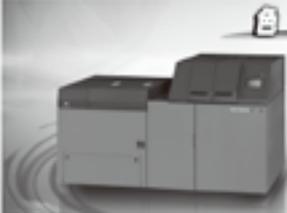
いずれにしても、組合は「やる気のある組合員」のための機関だと認識しています。事業規模に関係なく、やる気さえあれば様々なメリットが享受できるよう努めてまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。


KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

自撮正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Folbaid AQUA

環境対応フラット

ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS C7000



BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上生命ビル5F 611F TEL. 052-229-4624(代)

■愛知県印刷工業組合 平成24年度通常総代会



木野瀬新理事長が船出

新執行部／理事長：木野瀬吉孝

副理事長：細井俊男、鳥原久資、岡田邦義、鈴木正（新任）

3本柱を推進「利益が享受できる会社」「CSR（企業の社会的責任）を果たす業界」「経営者の勉強の場としての組合」

■通常総代会

平成24年度通常総代会は5月18日(金)午後4時より名古屋観光ホテルにおいて開催されました。

岡田邦義副理事長が司会を務め、開会の辞を木野瀬副理事長が述べた後、高井理事長の開会挨拶があり総代会に入りました。

議案審議の前に議長選出が行われ、司会者一任で後藤規之氏(三藤印刷株)が指名されました。総代会成立の確認が行われ、総代定数48名の内、出席者総数20名、委任状19名の合計39名、定足数25名を超えており総代会の成立が認められ、議事に入りました。

[第1号議案]平成23年度事業報告及び決算関係書類承認の件、[第2号議案]平成24年度事業計画及び収支予算承認の件(事業計画については別項参照)、[第3号議案]平成24年度経費の賦課金及び徴収方法の決定の件、[第4号議案]定款一部変更の件、[第5号議案]平成24年度常勤役員報酬額承認の件、[第6号議案]平成24・25年役員承認の件。

以上、1号議案から6号議案まで報告、審議を行

い、いずれの議案も原案通り承認されました。(なお、監査報告は、前崎弘光監事が行いました)。

議事終了後、別室において臨時理事会が開かれ正副理事長の選出が行われました。

■新三役発表

総代会後半に移り、引き続き岡田副理事長が司会を務め、冒頭、平成24・25年度役員紹介が行われ、新三役が紹介されました。

・理事長：木野瀬吉孝（新任）

・副理事長：細井俊男、鳥原久資、岡田邦義（以上留任）、鈴木正（新任）

・専務理事：加藤修（留任）

—敬称略—

本年度の役員改選で、理事35名、監事3名、総代40名が決まりました。一方、理事12名、監事1名、総代27名が退任しました。

続いて、高井理事長から退任の挨拶がありました。

【高井理事長退任挨拶】

2期4年、歴史ある工業組合の理事長を務めさせていただきまして有難うございました。皆様のご協力を心からお礼申しあげます。私なりに業界のためにと全力で務めてまいりましたが、力不足でご不満の点多々あったかと思いますが、お許しをいただきたいと思ひます。4年前、常に思っておりました業界の不健

康な面、例えば、不利益な価格競争であるとか設備投資のあり方、経営力のなさなど、何とか健康な印刷産業にしなければいけないと思っておりました。健康な印刷産業を皆さんと一緒に作りましょうと、皆さんに呼びかけをさせていただきました。そのためには売り上げ対経常利益率を最低5%目標にしましょう、と皆さんに何度も何度も申しあげてきました。“そんなことできるか”と、ご批判をいただきましたが、あきもせず申しあげてきました。経営力アップの勉強会も数多く開催しました。これらの活動は全印工連でも取り上げて、経営羅針盤などで訴えていただきました。余談ですが、会う方々に、“経常利益5%の高井サンです”といわれるようになりました。しかし、まだまだ業界は不健康であります。今後も、皆様方の引き続きの活動をお願いしたいと思っております。

任期中の事業の中に、委員会活動を活発にするために、毎月1回、自分たちがためになる活動にしていきたいと、印刷寺子屋を開催し、お互いが情報交換をしながら勉強会を進めてきました。共済活動も積極的に行いました。それから、ポスターグランプリを開催しました。印刷業界とデザイン業界、さらにはデザインを志向する学生さんたちの交流・強化を図る目的としたもので、是非、これからも進めていきたいと思っております。また、企業の責任として、人材育成のための新入社員教育をジョブカードを利用し開催させていただきました。組合については、戦後処理をさせていただき、懸案の印刷会館建設に取り組むことができました。

役員の方には、大変人使いの荒い理事長であったかと思いますが、お許しをいただきたいと思っております。後任の木野瀬理事長を始め、副理事長、委員長など、皆さんは優秀な方たちばかりです。力を合わせ健全な印刷産業を作っていただくことを願

い申しあげ、退任の挨拶とさせていただきます」。

【木野瀬理事長就任挨拶】

続いて、木野瀬新理事長より就任の挨拶が行われました。木野瀬理事長は、理事長所信表明としてアップルの創業者故スティーブ・ジョブズ氏の言葉「Stay Hungry、Stay Foolish」を引用し、①利益が享受できる会社、②CSR（企業の社会的責任）を果たす業界、③経営者の勉強の場としての組合の3本柱を掲げました。（別項、理事長所信表明参照）。

来賓紹介の後、来賓祝辞に移り、中部経済産業局産業部彦坂謙二流通・サービス産業課長、愛知県産業労働部杉浦健二産業労働部次長から祝辞が寄せられました。

鳥原副理事長の閉会の辞で総代会を終えました。

■懇親会

続いて、懇親会に移り、愛知県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合の合同で開催されました。司会進行は、鈴木副理事長が務めました。

冒頭、高井協同組合理事長が「新しい執行部の元で活力ある組合運営が行われることに期待します」と激励の言葉を贈りました。これを受けて木野瀬理事長が「私一人では何もできません。副理事長始め執行部の皆さんのご協力を得て、伝統ある愛印工の名を汚さないよう頑張っていきます」と、力強く述べると共に協力を要請しました。

続いて、高井理事長、退任役員に感謝状が贈呈され、代表して猪飼重太郎（株昭栄社印刷所）前理事が退任挨拶を行いました。

乾杯の発声を塚本久愛知県会議員が行い、懇親の宴に入りました。約1時間半にわたり新役員を囲み懇談に華が咲き、また、情報交換と親睦の輪を広げました。宴たけなわの中、細井副理事長の中締めで懇親会を終了しました。

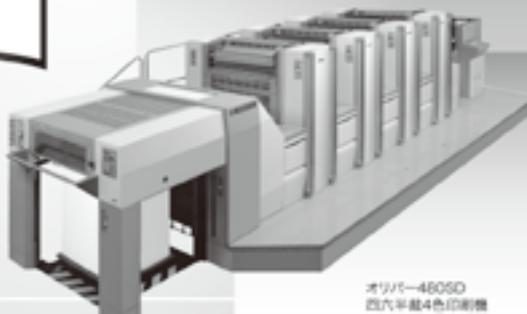
四六半載

OLIVER 80SD/SDP

さらにグレードアップ!!

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

シリーズ



オリバー460SD
四六半載4色印刷機

Sakurai

株式会社 櫻井印刷工業株式会社
<http://www.sakurai-press.com>

本 社
〒135-0012 東京都江東区橋本2-2-9
TEL. 03-3643-1131 (FAX) 03-3643-1138

中部営業所
〒501-3713 岐阜県美濃市3951
TEL. 0575-35-2551 (FAX) 0575-35-2887

大高営業所
〒11-0012 大板市富川区木小川3-1-31
TEL. 046-8308-6651 (FAX) 046-8308-6679

九州営業所
〒810-0021 福岡市中央区天神5-4
TEL. 092-741-2672 (FAX) 092-741-2670

組 立 工場
〒501-3713 岐阜県美濃市3951
TEL. 0575-33-1360 (FAX) 0575-33-1146

「Stay Hungry, Stay Foolish」

一貧欲に、そして愚直に学び続けなさい

愛知県印刷工業組合
理事長 木野瀬 吉孝



■組合運営は3本柱を軸に遂行

現下の印刷業界は、厳しい日本経済のおおりの影響を受け、嵐の海をさまよっているがごとき状態です。そんな中、愛知県印刷工業組合の理事長に就任します。この嵐を止める術は、私にはありません。しかし、荒れ狂った海でも組合員が航海できる羅針盤を作る努力を重ねることに、ためらいはありません。次なる世代に健全な業界を継承し、社員とその家族、そして支え続けてくれた協力会社の社員とその家族にも確かな生活基盤を提供し、私たちの業界が社会に貢献し続けることを目指し、強い覚悟で理事長職に取り組んでまいります。

先人たちの努力のお陰で、印刷業は確固たる地位を築き社会に必要とされてきました。しかし、昔の成功体験から脱却できず、業態変革の提唱にも動くことすらできなかった結果が、今日の姿をもたらしていると言っても過言ではありません。こうした現状を打破するには、そのことを真摯に反省して、社会が求める姿に業界が変革すると同時に、正当な利潤を追求することを貪欲かつ愚直に進めなくてはなりません。

次の3項目を柱に、組合員の皆様と共に組合運営を遂行してまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

■利益が享受できる会社

多くの組合員から「儲からない」「赤字だ」という言葉を耳にするようになって、何年も経ちました。その言葉の頻度に比例して、業界の疲弊度は年々増しているような気がします。

では、なぜ儲からなくなったのでしょうか。「プリプレス部門で利益を取れなくなった」「各社が設備投資を過剰に進めたためデフレになった」「印刷からWebへ宣伝媒体が変化した」というようなもっともらしい解説で、自分たちを納得させてきましたが、果たしてそんな理由だけで赤字体質になってしまったのでしょうか。

こんな状況下でも、確実に利益を上げている仲間はいます。そんな会社の中には、その秘訣を私たちに開示してまで業界の体質改善を呼びかけてくれる経営者もいます。昨年、私たちはそんな彼らから「見える化」という言葉で、経営の可視化とMIS（経営情報化システム）の有用性を学びました。

利益を確保している会社は、業態変革に取り組んでいることは言うまでもありませんが、MISで一つひとつの仕事を

細かく分析し、人件費や付加価値を瞬時にはじき出すことによって、社員誰でも見える形で貢献度を明らかにしていました。そして、どんな仕事はその会社に利益をもたらしているのかを明確にして、その利益の一部を社員へリアルタイムに還元してきました。逆説的にいえば、利益の伴わない仕事も社員に見えるようにして、その仕事を避けて利益を確保してきたとも言えます。

複雑な工程を経て、種々雑多な製品を造っている私たちの業界なので、日々の仕事の加工高を含めた付加価値をはじき出すのは、不可能に思われてきました。しかしシステムさえ構築すれば、それらのことは可能になり、スピード感を持って経営判断することができるのです。

愛印工の組合員企業にMISを浸透させ、ダンピングによる無意味な競争から脱却して、売り上げのみを求めず、利益を享受することを目的とする企業体質に、業界を再生させることを目指します。

■CSR（企業の社会的責任）を果たす業界

私たちは、企業活動を通じて多くの社会的責任を担っています。通常CSRは、企業のメセナや奉仕活動と区別されると同時に、利益のみを求めずステークホルダーとして総称されるお客様や取引先、社員、地域社会の要求に応えることに重きを置いています。

しかし、私は上記で述べた企業の享受する利益が、CSRを果たす上で不可欠な要素だと思っています。なぜなら、ステークホルダーの要求は企業が存続して始めて応えられるし、更に高度な要求には人材育成・設備投資を実施するための高い利益が必要になってくるからです。

次に、CSRを果たすために愛印工が組合員へ提供できることを、ステークホルダーごとにまとめてみます。

①お客様の要求

戦いには武器が必要です。戦略も必要です。印刷にとらわれない新しいメディアの発信基地「MEDIAGE Aichi (メディアージュ愛知)」から、その武器と戦略を提供し続けます。しかし、それを受け止め、自分たちの会社の財産とするのは、あくまでも皆さんです。

我々が困っているのと同じように、お客様も日々の商売に苦しんでいます。的確な戦略で、その窮地を救ってあげてこそ私たち印刷業界の存在価値が高まります。皆さんが真剣に向き合っただけならば、組合はその期待に必ず応えます。が、戦略を実践するのは皆さんです。

②取引先の要求

ここで言う取引先とは、主に資材・機械などの供給会社と印刷・デザイン・ソフトを提供してくれる協力会社です。個別の取引関係だけでは、組合員企業に十分な情報が提供されないケースもあります。今までも資材の一方向的な値上げに対抗できず、お客様に価格を転嫁できないで苦慮することが多々ありました。全印工連の情報とネットワークを活用して、それぞれの取引先の業界に直接働きかけ、個別では対応できない組合員のニーズに応えます。

印刷会社が印刷会社に発注するスタイルは、私たちの業界にとって当たり前のことですが、他の業界では珍しいことです。現在の印刷物の低価格化は、同業者に対して必要以上に値引きを要求したことも要因の一つです。私たちの業界で、元請けと下請けがどのような関係を構築すべきか、皆で真剣に議論したいと思っています。

③社員の要求

この業界で働く社員の皆さんは、何を求めて働いているのでしょうか。私が拝見する限り、各社に意欲的な人たちが数多く見受けられます。その社員たちが、これからも希望を持って仕事に取り組んでいくために、組合がサポートできることは何でしょうか。

〈スキルアップ〉

昨年開催した「ジョブカード」システムによる200時間以上のカリキュラムの新人社員教育や、委員会活動から派生した印刷寺子屋などは、愛印工独自の取り組みとして高く評価されるものと自負しています。これからも、印刷業を中心としたあらゆるジャンルのメディアにスポットを当て、社員のスキルアップに寄与していきます。

〈生涯設計〉

国の年金制度が、きわめて不透明になってきています。そして、高い金利のもとで支給を可能にしてきた退職金制度も、適格年金の崩壊を例にとるまでなく、社員の将来を保障することはできなくなってきました。今こそ、経営者は社員ときちんと対峙して、彼らの将来をどう構築するのかの話し合いを始めなくてはなりません。

組合は、様々な保険会社と取引があります。その保険会社は、個別の会社や個人に不測の事態に備える保障を提供すると同時に、組合の運営に欠かせない存在になっています。

その保険各社に協力を仰ぎ、社員の個人年金に会社が補助をする形の新しい生涯設計プランの開発をお願いするつもりです。社員と会社が無理のない形で積み立てをし、共に将来

を語れる環境を是非とも作り上げたいと思っています。

詳細は、今後三役会と担当委員会で煮詰めてまいりますので、期待してお待ちください。

〈M&Aの勧め〉

この項にM&Aを取り上げるのは、若干不自然と思われるのですが、倒産や廃業のために働く人たちが路頭に迷う姿が、あまりにも多くなった今、社員から見た企業存続の在り方は当然検討されるべきと考えます。

組合が企業の倒産を救うことはできませんが、後継者難や経営者の健康上の問題で、継続を断念しなければならない会社の相談窓口としての受け皿は、きちんと用意する必要があります。全印工連でサポートするののかも含め、全国レベルで取り組んでまいります。

④地域社会の要求

社会は、印刷業界に何を求めているのでしょうか。と言うより、印刷業界は、社会に何を提供できるのでしょうか。

一昨年から愛印工が取り組んでいる事業に「ポスターグランプリ」があります。デザインを学んでいる学生や生徒に、発表の場を提供し賞を授与することによって、更にその分野を追求してほしいとの願いを込め実施しています。昨年からは、岐阜県と三重県の各工組との共催になり、地域的にも広がりを見せています。

では、このグランプリに応募してくれた学生たちは、将来どこで働くのでしょうか。できれば私たちの業界であってほしいですね。そのことが実現したとき、このイベントは社会貢献事業として完結すると思います。

お客様が困りごとを抱えているのと同じように、地域も数多くの問題を抱えています。印刷業界は、地域社会に一番密接にかかわっている産業と言ってもいいと思います。お客様や地域が抱えている問題を解決する会社のことを、全印工連では「ソリューション・プロバイダー」と称しました。その役割については、冊子やセミナーで詳細に解説されてきました。もちろん、その役割を私たちの業界が担うべきとし、多くの企業がそのことに取り組みました。

私は、業界が良くなって自分の会社だけが成長し続けることは、長いサイクルの中ではありえないと思っています。それと同じように、自分たちの会社が存在している地域の発展なくしては、自社の発展もありえないのです。

幸い、地域の発展のために独創的なアイデアを生み出し、地域を巻き込んで実績を上げている事例が、全国に多くあります。今まで私たちは、その成功体験を聞き真似事をしようとして、失敗を積み重ねてきました。成功の裏にある塗炭の苦しみにこそ、成功に至る秘訣があるはずですよ。

そんな生の事例を紹介し、本質を学ぶ場を提供します。

■経営者の勉強の場としての組合

「無識の指揮官は殺人犯なり」…これは、テレビドラマになった司馬遼太郎の「坂の上の雲」の中で、海軍大学校の初代戦術教官になった秋山真之が、学生に訓示した言葉です。私は、この言葉を聞いた時、なぜか自分に問いかけられるように感じました。

今から27年前、先代の急逝のため私は社長に就任しましたが、きちんとした経営の勉強をしないまま若い時を過ごしてしまいました。勉強をしなくても、懸命に仕事さえすれば業績は伸びていったので、学ぶ必要もあまり感じませんでした。多分、それなりに様々な知識は習得したと思いますが、経営の本質を 学び始めたのは、何と40代半ばの頃でした。それまで自分は、「無識の指揮官」であることにすら気が付かず、日々の経営にあたっていました。

50歳を迎え、愛印工から全印工連の2008計画特別委員会とその後の業態変革推進企画室に出向させていただきました。全印工連では多くの師に恵まれ、マーケティング、ワンストップサービス、業態変革、ソリューション・プロバイダー、経営可視化と、経営者としての学びを加速させることができました。師は先輩ばかりではなく、多くの後輩たちからも学ばせていただきました。

冒頭にも述べたように、今業界は荒海の真ただ中にいます。その荒海の中、社員たちは懸命に櫓をこいでいます。彼らが目的の港にたどり着くには、しっかりした構造の船と正確な羅針盤が必要です。そして船を操るには、船員の心をまとめる力があり、確かな航海の知識を持っている船長の存在がなくてはなりません。

戦争で指揮を誤れば、多くの犠牲者がでます。経営でも、会社が倒産したら、社員とその家族、協力会社、資材供給会社等々多くの人たちを傷つけます。それを防ぐためにも、経営者は経営を学び続けなくてはなりません。社員に印刷業のプロの技術や能力を要求する以上、経営者（経営陣）は経営のプロでなくてはならないのです。

この8年間、全印工連は経営のための様々なツールを皆さんに提供し、愛印工はそれに呼応して学ぶ場を提供してきました。しかし、そんな組合に対して「組合に入ってもメリ

ットがない」とか「企業規模が小さいから組合のレベルについていけない」という声をよく耳にします。今まで、全印工連と愛印工は間断なく時宜に応じて、あらゆる情報と学びの場を提供してきましたが、それは「やる気のある組合員のため」であり、ただ待っているだけの人には残念ながらそのサービスは届きませんでした。これからも、その方針は変わりません。

組合はやる気のある組合員のためには、どんな努力も惜しみません。組合のメリットを享受する条件は、「企業規模の大小」ではなく「やる気の有無」がすべてです。全印工連の島村会長からも、その視点で会の運営を図るとの決意を聞いています。私は、全印工連副会長として（愛印工理事長は全印工連副会長を兼務）その想いを全面的に支持していきます。

20代の人も60代、70代の人も学びの出発点は、その必要性を感じた時が最適なタイミングなのです。どんなに遅くてもかまわないし、ましてや早すぎることはありません。私が犯した過ちを、これから業界を支えるすべての後輩たちが決してしないよう、反面教師の役割も喜んで演じるつもりです。

どうか、組合を活用してください。組合に新しい息吹を皆さんの手で吹き込んでください。「業界の発展なくして自社の発展なし」を旨に、皆さんとともに次々に誇れる業界を造ってまいります。

※表題の「Stay Hungry, Stay Foolish」とは、アップルの創業者故スティーブ・ジョブズ氏が、スタンフォード大学の卒業式で学生に語った言葉です。「貪欲に、そして愚直に学び続けなさい」というジョブズのメッセージは、若者だけでなく、私たち誰にも当てはまる言葉だと思います。組合運営を、あくまで貪欲にそして愚直に進めてまいります。

平成24年度事業計画

■基本方針 ■事業—三役直轄事業、組織・共済委員会事業（組織事業、官公需対策事業、共済事業）、経営革新委員会事業、マーケティング委員会事業、教育委員会事業、労務・新人教育委員会事業

(1) 基本方針

昨年の3月11日の東日本大震災は、印刷業界ばかりでなく、我が国産業界に大打撃を与えました。その時発生した地震と津波は、物理的被害をもたらすと同時に、原発の是非から個々の人生観に至まで、日本国民のイデオロギーを根底から覆すテーマを数多く提供しました。全てのことを直視し、自らの考え方を確立することを、今私たちは求められているのだと思います。

そんな中、愛知県印刷工業組合の永年の懸案でありま

した新印刷会館が、「メディアージュ愛知」として、2月に竣工致しました。竣工までの白井元理事長、高井前理事長の並々ならぬご尽力に対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

お二人のご苦勞に報いるためには、私たちが業界を取り巻く現実に真正面から向き合い、時代を見据えた取り組みを展開していかなくてはなりません。その方向を確かなものにするために平成24・25年度の理事長所信として別項の通りまとめさせていただきました。この所信を基に、執行部が一丸となって事業を展開してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(2) 事業

【三役直轄事業】

これまで各事業委員会において実施してまいりましたポスターグランプリ及び印刷寺小屋を、本年度より三役直轄事業として実施することとし、より一層の事業の充実を図ります。

特に、第3回を数えるポスターグランプリは、将来性

のあるデザイナー育成の登竜門として認識されつつあることを自覚し、岐阜県及び三重県印刷工業組合との連携のもと、継続的に若者のデザイン力の向上及び社会貢献に務めてまいります。

また、組合青年部の活動を委託している名古屋而立会に対しては、将来を担っていく若い人材の登用を念頭に置きながら、印刷業会発展のため、引き続き活動を支援していくとともに、連携を強めてまいります。

更には、関連諸団体との情報交流を通じて、今後の業界のあり方や組合員の皆さんのお役に立つ情報を発信してまいります。

以上のとおり三役直轄事業を通して、業界の発展及び社会貢献に取り組んでまいります。

①第3回ポスターグランプリの開催、②全印工連CSR事業への対応、③印刷寺小屋の開催、④名古屋而立会への支援・協力、⑤関連他団体との情報交流、⑥その他各事業委員会に属さない案件などへの対応

【組織・共済委員会事業】

近年の印刷業界では、全面的にデジタル技術が導入され、生産技術、生産方式、生産効率も大きな変革を遂げましたが、経済環境の激変・産業構造の変革が進んで、国の中小企業施策も個別企業の自立支援へと大きく方向転換し、印刷情報産業として抜本的な対応を進められています。このような時にこそ組織の強化と組合員相互の交流が大切であると考えております。

組織の維持拡大もさることながら、それぞれの組合員企業が自社の強みを発揮し、適正な収益確保ができるよう、企業経営に必要な情報・資料を提供いたします。また、組合員の財政状況を考慮し、将来のあるべき姿を想定して、収益構造も含めた将来の組合のあり方を検討します。

官公需では破壊的な低価格競争によるダンピングが繰り返され、適正な利潤を生み出すことが不可能な低価格での落札が増えている現状を改善してまいります。以前より愛知県に対して進めていました、印刷物入札落札社

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
7月24日(火) 13:00～ 17:00	事業・行事 ところ	アドビテクニカルセミナー ウインクあいち 参加費:購入社(ライセンス購入人数まで無料) 未購入社 5,000円/1人(予定) 定員:90名 申込期日:7月13日(金)
8月8日(水) 18:30～ 20:30	事業・行事 ところ	印刷産業ビジョン SMARTRIX 2020 解説セミナー ウインクあいち 参加費:1人2,000円 定員:100名 ※近日案内発信予定(FAX)
9月24日(月) ～ 9月27日(木)	事業・行事 ところ	印刷業界の新入社員研修会 MEDIAGE Aichi(前愛知県印刷会館) ※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。 http://www.ai-in-ko.or.jp ※1講座毎のお申し込みも受け付けております。 ※新入社員向けの内容ですがどなた様でも受付させていただきます。
9月29日(土)	事業・行事 ところ	従業員・家族合同レクリエーション大会 掛川ウォーキング *詳細調整中

に積算書の添付の義務付けが、5月ゴールデンウィーク明けより実施されます。このことにより、ダンピング防止に歯止めがかかるとは思われますが、更に、他県の入札事例を参考に最低制限価格制度など愛知県に働き掛けてまいります。

愛知県印刷工業組合では全日本印刷工業組合連合会の指導の下、組合員企業のニーズに応じたさまざまな保険を低価格で用意しております。予期せぬ災害や事故があっても保険に加入していれば、継続して事業ができます。現在加入してみえます保険の見直しも含め、是非この機会に保険の加入についてご検討をお願い申し上げます。

また、今年度より各保険会社に協力を仰ぎ、社員の個人年金に会社が補助をする形の新しい生涯設計プランの開発を考え、社員と会社が無理のない形で積み立てをし、共に将来を語れる環境づくりを検討します。

—組織事業—

①全印工連、その他関係機関や諸団体からの関係情報の収集と提供、②支部事業の積極的支援、③将来の組合

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp
 中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

のあり方の検討、④「あいちの印刷」の継続的発行、⑤組合ホームページによる情報提供、⑥各委員会の事業推進に関する組合員へのより積極的な広報活動の推進、⑦愛知県印刷産業団体連絡会及び関係諸団体との密接な連絡のもと新年互例会などの実施。

—官公需対策事業—

①三重県を始め全国都道府県の官公需対策事例の情報を得る、②官公需要望書の作成、③印刷物のダンピング発注価格の見直しなどを要望する。

—共済事業—

①生命共済制度(全日本印刷工業組合連合会共済センター)、②経営者退職功労金制度(全日本印刷工業組合連合会)、③災害補償共済(同)、④総合設備共済制度(同)、⑤医療共済制度(同)、⑥貯蓄共済保険(大同生命保険㈱)、⑦経営者保険(同)、⑧がん保険(医療サービス㈱)、⑨愛知火災共済(愛知火災共済協同組合)、⑩自動車事故見舞金共済(愛知県商工共済協同組合)、⑪中小企業PL保険制度(愛知県中小企業団体中央会)、⑫個人情報漏えい賠償責任保険(同)、⑬傷害共済(愛知県中小企業共済協同組合)、⑭生命障害共済(同)、⑮経営者医療共済(同)、⑯契約福祉施設(中日典礼㈱、東海典礼㈱、㈱一柳葬具総本店)、⑰従業員の生涯設計に関する制度の導入。

【経営革新委員会事業】

先進企業見学会、経営革新セミナー、各種事例などの情報発信を通し、現在から未来へ向けての各社の事業展開を考える機会を提供していきます。また、印刷だけにとらわれず、情報発信企業として事業展開する上で、必要ない業種に関する情報発信にも取り組んでいきます。

①経営革新セミナーの開催、②先進企業見学会の実施、③企業経営に関する各種情報の発信。

【マーケティング委員会事業】

今あるノウハウを最大限に利用できるマーケティングに関する情報を、より多く発信していきます。

①マーケティングセミナー(2回)の開催、②全印工連の業界計画への対応(周知、説明会など)、③需要開拓情報誌「PRINTZOOM」の購読集約、④マーケティングに関する情報発信、⑤MUDへの取り組みについての啓蒙、⑥グリーンプリンティング(GP)認定工場制度の周知、⑦印刷産業における環境に関する各種情報の発信。

なお、マーケティング委員会では委員会メンバーを随

時募集しております。今期はいつからでも参加可能です。

【教育委員会事業】

教育委員会活動の主目的は印刷従事者のスキルアップを目指し、人材の教育支援をすることです。

印刷技能検定オフセット印刷作業実技試験、組合員受験者の学科試験の合格率向上のための対策学習会、経営者・技術者向けセミナーなどを開催し、全組合員、従業員の皆さんの資質向上及び人材育成と自己啓発を目的とした事業を実施します。

印刷技能検定では、実技試験の全日程を㈱桜井グラフィックシステムズ(岐阜工場)様のご協力の下、試験環境の平等化を図り実施します。また、全印工連と連携した「Adobeライセンスプログラムの説明会」及び「Adobeテクニカルセミナー」、「ゼロから始める“見える化”セミナー」を実施します。

印刷技能・営業環境の変化に伴い、企業経営の最重要課題である人材育成を取り入れた事業展開を目指してまいります。

①印刷技能検定オフセット印刷作業実技試験及び採点の実施、②印刷技能検定オフセット印刷作業学科試験対策学習会の開催、③「ゼロから始める“見える化”セミナー」の開催、④Adobeライセンスプログラム説明会の開催と販売促進、⑤AdobeCSテクニカルセミナーの開催、⑥教育セミナーの開催、⑦印刷技術、従業員教育に関する情報の発信。

【労務・新人教育委員会事業】

恒例になっています従業員・家族合同レクリエーション大会は、本年9月にウォーキングを兼ねた日帰り旅行を企画しております。また、新入社員研修会の企画にあたり、新入社員以外の皆さんにも参考になり、役立てていただけるカリキュラムを作成しましたので、組合からのご案内を必ずご確認ください、多数ご参加ください。

—労務事業—

①従業員・家族合同レクリエーション大会の実施、②永年勤続優良従業員表彰の実施、③鉛・有機溶剤取扱者健康診断の実施、④各種助成金制度、労働関係法規、従業員の福利厚生に関する情報発信

—新人教育セミナー—

ジョブ・カード制度活用を見据えた新入社員研修会の企画・開催。

●印刷機械
●製版機械
●製本機械
●DTP関連機
●印刷諸材料
●データ制作
●オンデマンド印刷
●データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区栄区本町3丁目17番地
TEL 052-632-5611 FAX 052-631-0280
http://seikoshotenet.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

PP貼りサービス始めました
PP貼りだけの仕事やります

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます
◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 豊田郡幸田町大字坂崎石ノ塔46-1 FAX:0564/62-8463



家族合同レクリエーション大会 静岡県・掛川市／9月29日開催

平成24年度5月期理事会は、5月18日午後1時30分より名古屋観光ホテルにおいて行われました。

理事会は、加藤専務理事の司会で始まり、冒頭、高井理事長が「私の最後の理事会になりました」との挨拶に続き、議事に入り、規定により理事長が議長に就任。理事会出席者23名により理事会の成立を報告した後、専務理事の議案説明に従い議事が進行されました。(なお、上程されました議案は全て承認されました)。

【議事内容要旨】

(1) 組合員の加入・脱退

加入・脱退はなく、組合員総数は267社（賛助会員15社、本部直轄2社を含む）。

(2) 平成24年度総代会提出資料説明

平成24年度予算書の説明、平成23年度事業主要実績、平成24年度主要事業計画（別項参照）。

(3) 今後の事業予定

▼平成24年5月通常総代会

日時：平成24年5月18日(金) 三役会12時、理事会13時30分、協組総会15時、総代会16時、懇親会18時。
場所：名古屋観光ホテル。

▼平成24年度「鉛・有機溶剤取扱者健康診断」（前期）、検診委託先／(社)オリエンタル労働衛生協会、(財)名古屋公衆医学研究所。

日時：平成24年4月～9月、場所：受診申込み各事業所（上記2社より選択）、申込み：随時。

▼教育セミナー「ゼロから始める“見える化”セミナー」

日時：平成24年6月15日(金)10時30分～12時、場所：三重県北勢地域地場産業振興センター（通称：じばさん三重）、参加費：各県印刷工業組合員1人2,000円、一般（組合員以外）1人3,000円。

▼中部地区印刷協議会上期会議

日時：平成24年6月15日(金)～16日(土)、場所：四日市都ホテル（※詳細調整中、決定次第案内）。

▼技能検定試験

[実技試験] 日時：平成24年7月7日(土)、8日(日)、21日(土)、22日(日)、場所：(株)桜井グラフィックシステムズ岐阜工場。受験手数料：1級一人16,500円、受験負担金一人13,125円、受験手数料2級一人16,500円、受験負担金一人12,075円。受験者：1級16名(12社)、2級16名(10社)、合計32名(18社)。

[学科試験] 日時：平成24年8月26日(日)午後、場所：未定。受験手数料：一人3,100円(各級一律)。受験者：1級13名(12社)、2級17名(9社)、合計30名(17社)。

実技試験／学科試験とも申込み締切済み。

▼経営者セミナー「印刷産業ビジョンSMARTRIX 2020解説セミナー」〈第1部〉SMARTRIX2020RE-PRINTING：再発見・再定義・再構成（60分）、〈第2部〉スマート社会における印刷産業とビジネスモデル(60分)

共催：(社)日本印刷産業連合会。

日時：平成24年8月8日(水)18時30分～20時30分、場所：ウインクあいち、参加費：一人2,000円。

その他：日印産連発行の冊子「SMARTRIX 2020—スマート社会に貢献する印刷産業—（1冊3,000円）をセミナー参加者の購入希望者に1冊2,000円で頒布。

▼技能検定学科試験対策学習会

日時：平成24年8月25日(土)午後、場所：メディアージュ愛知（※受験者を優先して受付、詳細調整中）。

▼従業員・家族合同レクリエーション大会

日時：平成24年9月29日(土)、場所：静岡県掛川市（※詳細調整中、支部単位での参加、バス貸切も可）。

▼第3回ポスターグランプリ

応募作品受付期間＝平成24年8月20日(月)～9月5日(水)。

入賞・入選作品展＝日時：平成24年10月16日(火)～21日(日)10時～18時（19日(金)は20時まで、最終日は15時まで）、場所＝愛知県美術館8階ギャラリー「展示室E・F」。

入賞者表彰式＝日時：平成24年10月21日(日)10時30分～12時、場所＝愛知県芸術文化センター12階「アートスペースA」。

▼その他

①「競り下げ方式」導入に対する反対要望書の件、②理事会など会議開催日程の報告。(なお、「競り下げ方式」については別項参照)。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社

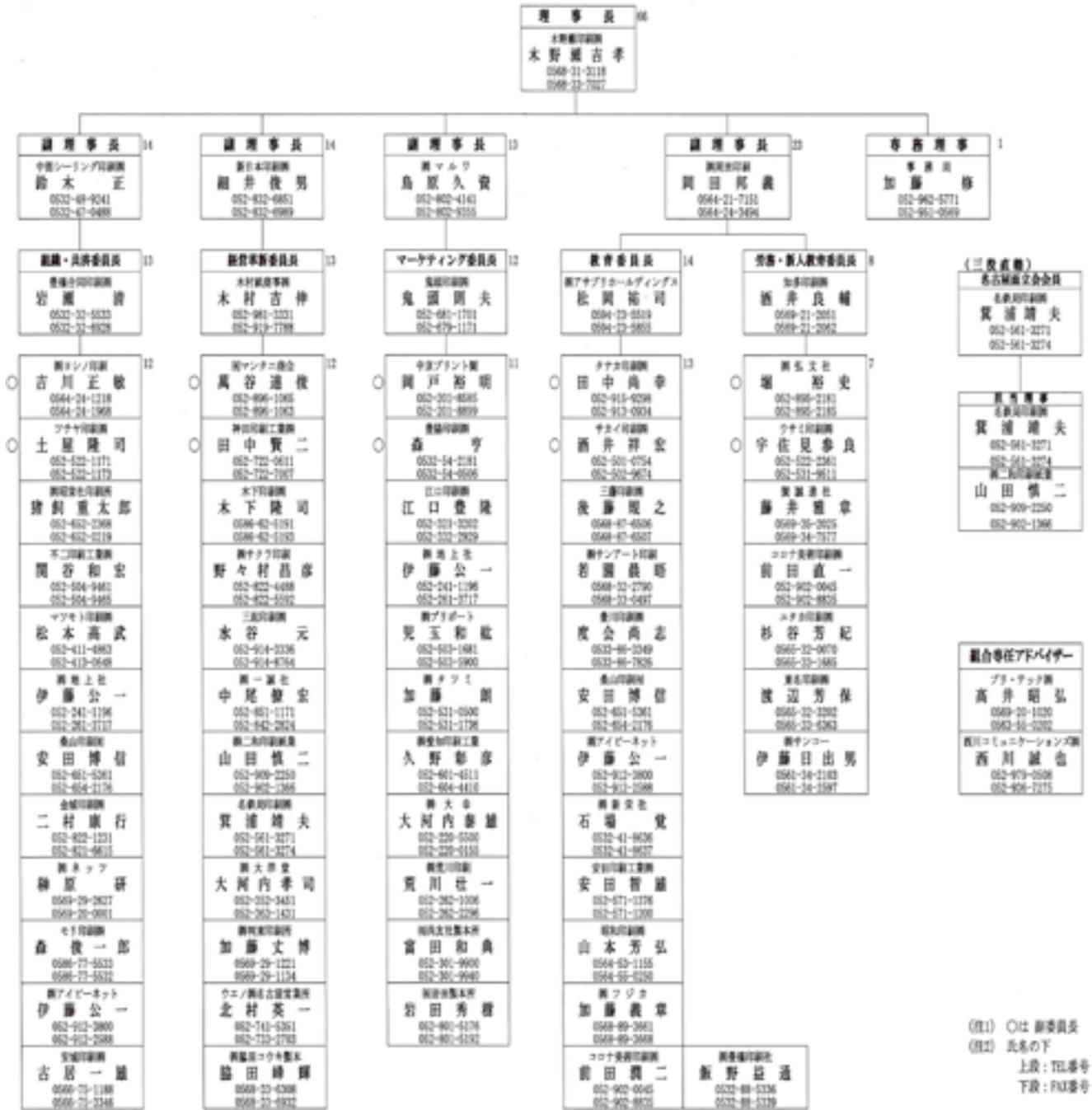
メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-63 〒461-0018
TEL.052-931-2221(PO) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0566)28-2049

平成24・25年度 愛知県印刷工業組合執行部及び委員編制図



オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 アクス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

経営本部 TEL:052)220-5511 FAX:052)220-5522
LED事業部 TEL:052)220-5518 FAX:052)220-5526
http://www.axuas.jp / E-mail: info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。

聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。
心よりお待ち申し上げております。

愛知県印刷協同組合

平成24年度通常総会

高井昭弘理事長が就任

愛知県印刷協同組合（白井紘一理事長）の「平成24年度通常総会」が理事会に引き続き午後3時より開催されました。通常総会の司会には加藤専務理事があたり、冒頭、白井理事長が挨拶に立ち、「再度確認のため」と前置きし、会館建設に至る経緯を報告しました。

「1昨年7月に開催された臨時総会において、組合員が一致団結し、我々の活動拠点である会館の建設が決定され、平成23年6月に着工、翌2月に竣工し、名称も愛知県印刷会館からMEDIAGE Aichi（メディアージュ愛知）となりました。印刷業界の情報発信基地として利用されることを望み、今後も会館の維持管理などを図っていきます」と表明。

さらに、懸念されていた土地取得に触れ、「平成23年6月23日、愛知県印刷工業協同組合に対し、昭和26年2月26日時効取得を原因とする所有権移転登記手続き請求を起しました。平成23年9月14日、名古屋地方裁判所民事第6部裁判所書記官から判決があり、『時効取得を原因とする所有権移転登記手続きをせよ』との命令を受け、手続きを済ませ、平成23年10月5日、同裁判所書記官から時効取得の確定証明書をいただきました。そして、翌11月15日、登記を完了致しました。これをもちまして、懸案でした問題が解決し、建物を建てるための資金調達がスムーズに進むという形が取れたわけですね」との経緯が説明されました。また、印刷会館(株)の設立について振れ、「会館を建てるため4,900万円を組合員の皆さんからファンドとして預かりました。その運営の目的のため印刷会館株式会社という法人を設立しました。私が社長として引き続き担当させていただくことになりました」と説明がありました。

続いて、議案審議に入り、司会者一任で鳥原久資氏

厚生労働省（愛知労働局）

「印刷業における 化学物質による健康障害防止対策」要請

厚生労働省は5月21日印刷業界に対して、化学物質による健康障害の適切な防止対策を実施するよう要請を出した。

これは、今年3月大阪府内の校正印刷事業所の元従業員が、胆管ガンを発症したとする3件の労災請求に対応したもので、同省では、「現時点で業務との因果関係は不明であり、現在原因の究明中だが、予防的観点から対策の実施を要請した」と説明。また、同じく各都道府県労働局長宛に、「関係事業所に対して対策の適切な実施を指導すると共に、管内印刷業界団体に対しても要請を願いたい」と通達した。

所轄署では、労災請求を受けて立ち入り調査を実施すると共に、厚生労働省においても専門的観点から調査を行なう。

日印産連への通達では、「事業場で使用しているインク、洗浄剤などについて、安全データシートにより化学物質の成分を把握すること」としたうえで、成分に特化則の対象物質が含まれる場合には、代替物の使用、局所排気装置などの設置、作業環境の測定、特殊健康診断の実施、作業主任者の選任、作業の記録、安全衛生教育などの措置を確実に講ずることを指示している。（5月31日にFAXでお送りしました。日印産連からのアンケート調査票へご協力をお願いします。）

（株マルワ）を議長に選出。第1号議案「平成23年度事業報告及び決算関係書類承認の件」、第2号議案「平成24年度事業計画及び収支予算承認の件」が上程され、いずれも承認された。また、第3号議案として「役員改選の件」では、白井理事長から理事長退任届けが提出されたことで、登記手続き上全員辞任を受け、新しく以下の役員が選任されました。

▼理事長＝高井昭弘、▼副理事長＝木野瀬吉孝、細井俊男、鳥原久資、▼理事＝岡田邦義、鈴木正、長苗克彦、西川誠也、吉川正敏、宇佐見参良、猪飼重太郎、富田尚志、木下隆司、▼監事＝富永康文、白井紘一（敬称略）

KOMORI
Kando: Beyond Expectations

H-UV Innovative Curing System
ハイブリッドUVシステム

瞬間乾燥とパウダーレスが短納期と高品質をもたらす
革新的な乾燥システムが商業印刷を変えました。

Made in Japan with state-of-the-art technologies

株式会社 小森コーポレーション 名古屋支店 〒454-0807 名古屋市 中川区 愛知町 4-6 Tel:052-363-5011 www.komori.com

「競り下げ方式」入札制度への対応

最低制限制度と矛盾

国会議員に反対要望書を提出

官公需の「競り下げ方式」による入札制度が問題になっている。例えば、厚生労働省の平成23年度「はたちの献血ポスター」の入札が32回繰り返され、競り下げ開始価格の44.23%下落、また、医療品産業実態調査報告書にいたっては、入札52回、65.04%下落している。印刷以外の競り下げではこれほどの入札回数、価格下落は起していないため、「印刷を狙い撃ちをしている」との声があがっている。

競り下げ方式とは、1回の入札ではなく、一定時間内に複数の業者に複数にわたり最低価格を競わせる仕組み。国の公共プログラムに基づき平成23年度から試行され、平成24年度も引き続き試行される見込みとなっている。この競り下げ方式は、行政の経費削減効果が大きいといわれているが、疑問視する声も多い。

木野瀬吉孝愛印工理事長は、「最低制限価格制度と明らかに矛盾している」と指摘し、「各工組連盟による国会議員宛の反対要望書を作成し提出を行う」としている。

厚生労働省における競り下げへの対応は以下のごとくになっている。

(1)政府全体での位置付けと厚生労働省における導入の経緯

競り下げについては、行政刷新会議公共サービス改革分科会策定の「公共サービス改革プログラム」（平成23年4月28日公表）に基づき、コスト削減や新規参入促進などの効果、現行会計法令化における制約・課題・中小企業者の受注機会や事業活動への影響などに付き十分な検証を行うため、平成23年度から政府全体として試行を行っており、厚生労働省もこれに参加している。

(2)厚生労働省の対応

【平成23年度の対応】

「物品の購入」及び「印刷」について競り下げを実施。

①鋼鉄引違書庫4台外9件の購入

競り下げ実施日：平成23年9月20日
競り下げ開始価格：1,247,800円
最終価格：1,232,300円
差額：15,500円（▲1.24%）
参加者数：2社（入札回数2回）
競り下げ最低価格者の企業規模：中小企業

②平成23年度「はたちの献血」ポスターB2版21,070枚外1件の印刷
競り下げ実施日：平成23年11月25日
競り下げ開始価格：717,260円
最終価格：400,000円 差額：317,260円（▲44.23%）
参加者数：8社（入札回数32回）
競り下げ最低価格者の企業規模：中小企業

③医薬品産業実態調査（医薬品製造販売業・卸売業）報告書210部外1件の印刷

競り下げ実施日：平成24年1月13日
競り下げ開始価格：915,400円
最終価格：320,000円
差額：595,400円（▲65.04%）
参加者数：5社（入札回数52回）
競り下げ最低価格者の企業規模：中小企業

④鉄鋼大型回転椅子3脚外1件の購入

競り下げ実施日：平成24年3月2日
競り下げ開始価格：1,216,300円
最終価格：1,216,300円
差額：0円（▲0%）
参加者数：2社（入札回数1回）
競り下げ最低価格者の企業規模：中小企業

【平成24年度の対応】

平成23年12月、内閣府公共サービス改革担当事務局から示された「調達改善計画の指針」に基づき、「平成24年度厚生労働省調達改善計画」を策定し、その中で、競り下げについては、15から20件程度を実施することとしており、平成24年度は、この計画に沿って試行に取り組む予定。

展示会案内

■情報印刷産業展「JP2012」開催

JP産業展協会は6月14日(木)～16日(土)大阪・南港のインテックス大阪3号館において、36回目となる「JP2012情報・印刷機材展」を開催する。時代環境の大きな変化に合わせ「オープン・イノベーション・イベント」を掲げ、「AR（拡張現実）」を活用した実演と、DRUPA2012に出展した企業の報告会が行われる。

事務局だより

■木野瀬吉孝新理事長による船出が始まりました。副理事長の細井、鳥原、岡田3氏は留任、鈴木氏が新副理事長として新任されました。メディアージュ愛知の竣工と合わせ、活気ある愛印工組に大きな期待が寄せられています。■高井前理事長の後を引き継いだ木野瀬理事長。若干61歳の若さを武器に活躍が期待されます。所信表明を是非お読みいただきたいと思ひます。

あいの印刷

No.487

平成24年6月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL <052> 962-5771

FAX <052> 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp